

業務結果説明書

(1) 研修講座名

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【ボランティアを対象とした実践的長期研修】

(2) 研修の具体的内容（実施結果）

回 (※)	実施日	研修内容	受講 者数	会場	摘要
①	11月4日	オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介 ・ 講座内容について ・ 日本語教師の資格について ・ 適正チェック ・ 「うれしい」「たのしい」 	6人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記
②	11月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「こんにちは」「こんにちわ」 ・ 「日本語の教え方ABC」第1～5課 第1課 名詞文 第2課 こ・そ・あ・ど 第3課 動詞文 その1 第4課 動詞文 その2 第5課 動詞文 その3 <ul style="list-style-type: none"> ➢ こ・そ・あ・ど「これ」「この」 ➢ (時)「に」を伴う、伴わない ➢ (場)で、に、を(動詞) 	8人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記
③	11月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疑問符「?」、か。について ・ 「待つ」存在動詞?行動動詞? ・ 「日本語の教え方ABC」第6～10課 第6課 形容詞文 第7課 存在 第8課 ～は～が文 第9課 比較 第10課 授受 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「日本語学級②」34, 35課授受表現あげる、もらう、くれる 	8人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記

④	11月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教案、授業案(対象者、学習項目、目標) ・ 「がっこう」→モーラ(拍)、音節 ・ 「ケンッキー」→長音、促音、撥音(特殊拍) ・ アクセントの法則「合格するための本 2009」 聴解 CD ・ 「日本語の教え方 ABC」第 11, 12 課 第 11 課 て形 その 1 第 12 課 て形 その 2 ・ て形覚え歌 	8 人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記
⑤	12月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門(せんもん)のアクセント ・ 発音(表記の違いについて) yama(ヤマ) (ジャマ) ・ 「日本語の教え方 ABC」第 13~16 課 第 13 課 ない形 第 14 課 辞書形 第 15 課 た形 第 16 課 普通形 	8 人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記
⑥	12月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・ いっぱい(たくさん)、とても、よく ・ 「日本語の教え方 ABC」第 19~20 課 第 19 課 可能動詞 第 20 課 自動詞・他動詞 	6 人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記
⑦	12月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ いっぱい(たくさん)、とても、よく ・ 「日本語の教え方 ABC」第 19~20 課 第 19 課 可能動詞 第 20 課 自動詞・他動詞 	7 人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記
⑧	1月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「日本語の教え方 ABC」第 21 課 第 21 課 意向形 ・ 模擬授業発表の準備 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 絵カード ➢ 「みんなの日本語教え方の手引き」 	5 人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記
⑨	1月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「日本語の教え方 ABC」第 22 課 第 22 課 条件文 その 1 ・ 模擬授業発表の準備 	5 人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記

⑩	1月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬授業 <ul style="list-style-type: none"> ➤ ①「NをVます」 ➤ ②「Nをあげます、もらいます」 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 絵カードの持ち方、めくり方 ◇ 練習や例文を作らせる時、先生がまず手本を見せる ◇ 学習者への説明が難しい説明になっている ◇ 学習者に何をしてもらいたいのか先生の指示をはっきりする ・ 中国人「～あるよ」の起源 	6人	笠岡国際交流協会事務所	講師は別記
⑪	1月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬授業 <ul style="list-style-type: none"> ➤ ①「NがNの上・下・右・左にあります、います」 ➤ ②「こそあど」 ➤ ③「Nが助数詞Nにあります、います」「なにかあります」 ➤ ④「Vてあげます、もらいます、くれます」 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 単語を導入してから、文で導入する ◇ レアレアはわかりやすいものを選んで使用する ◇ 準備した材料で何を教えたいのかははっきり整理しておく 	8人	笠岡国際交流協会事務所	講師は別記
⑫	2月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬授業 <ul style="list-style-type: none"> ➤ ①形容詞 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 練習に新聞広告を用いるのは良いが、余計な情報を減らすように準備する ・ 「おおきい」「おおきな」違い ・ 「日本語の教え方ABC」第23課 第23課 様態 	8人	笠岡国際交流協会事務所	講師は別記

⑬	2月4日	現在までの問題点 基本的な文型練習	11人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別 記
⑭	2月10日	・ 「日本語の教え方 ABC」第23～25課 第23課 様態 第24課 推量 第25課 行為の授受	9人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記
⑮	2月17日	・ 「日本語の教え方 ABC」第26, 27課 第26課 理由・変化 第27課 条件文 その2	7人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記
⑯	2月18日	課題発表 文型の導入	10人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別 記
⑰	2月24日	・ 「日本語の教え方 ABC」第28課 第28課 受身	8人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記
⑱	2月25日	課題発表 技術研修生への日本語指導	9人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別 記
⑲	3月3日	・ 「日本語の教え方 ABC」第29課 第29課 使役 ・ 日本語能力試験について	7人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記
⑳	3月4日	課題発表 初級授業の流れ 応用練習	10人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別 記
㉑	3月10日	・ 「日本語の教え方 ABC」第30課 第30課 敬語 日本語能力試験について	6人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記
㉒	3月17日	・ 条件と・ば・たら・なら ・ 日系社会青年ボランティア報告 ・ 受講アンケート	5人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記
㉓	3月24日	・ 質問へ回答 ・ 中級について	5人	笠岡国際 交流協会 事務所	講師は別記

森原先生

参考図書

- 「日本語の教え方 ABC」(アルク)
- 「新・はじめての日本語教育」(アスク)
- 「みんなの日本語初級 I・II」(スリーエーネットワーク)
- 「絵を描いて教える日本語」(創拓社出版)
- 「実力アップ! 日本語能力試験 3 級」(unicom)
- 「初級を教える人のための日本語文法ハンドブック」(スリーエーネットワーク)
- 「教師と学習者のための日本語文型辞典」(くろしお出版)
- 「日本語教育能力検定試験合格するための本 2009 年度版」(アルク)

生徒たちの感想

- ・ 段階を追って勉強する大切さを学んだ。
- ・ 実習では、教える事柄に合った図を描くとわかりやすいと思った。
- ・ 普段話している日本語が、適当に流されているのがわかった。
- ・ 日本語教師の大変さがわかった。
- ・ 初級を学んだので、今度は中級を学びたい。
- ・ 専門の安原先生に教えて頂いたが、先生のゼミで行っている、外国人たちへの大学生の日本語教育の実習を是非見学しに行きたい。

企画委員会で

- ・ 色々な先生に教えて貰ったらよい。
- ・ 教科書研究をもっとするべき。色々な教科書を読んでみることに。
- ・ 教科書を決めて、どこに何が書いてあるか分かるまでマスターすること。
- ・ 現在、水曜日の午前 10 時からと、土曜日の午後 2 時から日本語講座を行っているが土曜日にも仕事を休めない外国人(日本語講座に来たくても来られない外国人)のために平日の夜、もう一つ日本語講座を設けてはどうか。その場合、この 20 年度の講座で学んだ生徒たちでローテーションを組み、教えていってはどうか。そうすると、学んだ事を生かせる場ができることにもなる。